

事業名	青少年育成事業費			調書番号	105
細事業名	青少年健全育成功労者知事表彰	財務コード	1271-02		
担当部課室	教育庁 部 社会教育 課 青少年保護育成 担当 (内線) 1602				

事業の概要			
実施期間	始期 S55 年度 ~ 終期 - 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	市町村の区域を越えた広域的な青少年健全育成の功労者	功績が顕著な者を知事表彰をもって称えられる	県民の青少年健全育成に対する理解と積極的な参加を促し、地域における青少年育成活動の一層の充実を図る
内容	・山梨県青少年健全育成功労者表彰要綱に基づき、県内の青少年健全育成に貢献があった者を表彰する ・表彰は、7月に開催する青少年非行・被害防止県民大会の席上で行い、知事表彰をもってその功績を称え、記念品(額)を贈呈する		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)										
区分	指標			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	盛大に功績を称える表彰機会の設置	目標	1	1	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	1	1	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	b	
成果指標		目標								
		実績(見込)								
		達成率								
		達成区分								
決算(予算) 単位:千円				60	60	61	54	54	33	33

事業の評価(平成28年度の業績評価)		
活動指標	b	評価 市町村の区域を越えた広域的な青少年健全育成の功労者を、知事表彰をもって称え、県民の青少年健全育成に対する理解と積極的な参加を促し、地域における青少年育成活動の一層の充実を図る。
成果指標		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)	
県関与の必要性	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明 <input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(次のとおり) )
有効性(成果向上)	判定 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない 説明 県内の青少年健全育成に貢献があった者を表彰することにより、県民の青少年健全育成に対する理解と積極的な参加を促し、地域における青少年育成活動の一層の充実を図ることが期待できる。
見直しの余地	判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明 <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他( )
その他	説明
見直しの必要性	有 推薦調書等の工夫により、業務プロセスの簡略化・簡素化を図る

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)	
実施方法等の変更	説明 推薦者への再度聞き取り等の確認が最小限になるよう推薦調書の記入例を示すなど、業務プロセスの簡略化・簡素化を図る。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。